

## NIE実践9校始動

# 論説



NIE(教育に新聞を)を推進する県内の本年度実践指定校9校が活動を本格化させる。新学習指導要領が掲げる「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、公開授業や出前授業、朝のNIEタイムなどで大いに新聞を活用してほしい。

9校の内訳は小中学校が各4校、高校1校。本年度も各校は意欲的な実践テーマを掲げている。

新規校の麻生津小は「新聞を活用して社会のさまざまな事象への興味関心を高

める」などとする。新聞は社会の変化を扱っている。「環境汚染」や「少子化」などのニュースに触れることで、児童たちは自分を取り巻く社会の問題点を知ることができる。

「新聞に親しみ、日常的に読む」が第一歩になる。テーマを定め、調べ学習やグループでの話し合い、発表などを通して、主体的な学びにつなげてほしい。

新聞に親しむためには、日ごろから社会に関心を持つことが必要がある。新聞各紙には子ども向けのコーナーが用意されている。本紙なら「デイリーこどもタイムズ」などで、これらを毎日、目にするのが新聞を開く習慣になる。

最近ではさまざまな教科で新聞の活用が広がっている。県内の公開授業や教員対象の研究授業は2018年度までの3年間で小中合わせて計75件。定番の国語や社会だけでなく、道徳のほか、数こそ少ないものの理科、算数・数学、英語など

## 意欲的な取り組みに期待

なものと感じさせること

は子ども向けのコーナーが用意されている。本紙なら「デイリーこどもタイムズ」などで、これらを毎日、目にするのが新聞を開く習慣になる。

新規校の小浜二中は「さまざまな教育活動や教科の授業づくりの中で積極的に新聞を活用し、一人一人の生徒の確かな学力向上を目指す」とする。例えば数学

なら新聞にある数字やグラフ、読み比べで各紙の書き方の違いを子どもたちに考えさせたりする。

最近ではさまざまな教科

で新聞の活用が広がっている。県内の公開授業や教員対象の研究授業は2018年度までの3年間で小中合わせて計75件。定番の国語や社会だけでなく、道徳のほか、数こそ少ないものの理科、算数・数学、英語など

重要な事柄から順番に書いていく新聞記事の「逆三角形の構成」を解説したり、読み比べで各紙の書き方の違いを子どもたちに考えさせたりする。

幸い県内にはNIEの豊富な実践例がある。実践指定校9校には、これまでの学校が積み上げてきた事例を参考に熱心な取り組みを期待したい。

2019.5.13